

広報

こまつ

KOMATSU Monthly

Feb.2018
No.1153

2



特集

食文化で世界を おもてなし

海外では、日本の食や食文化が脚光を浴びています。
歴史がつなぐ小松独自の食文化で
海外からのお客様をもてなしましょう。

SAVOR JAPAN認定によせて

食に注目した訪日外国人の誘致

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、インバウンドの方々が日本で期待していることの第1位は「日本食を楽しむこと」です。

農林水産省としては、日本食への人気に注目しつつ、地域の食や食文化などを活用して訪日外国人を誘致する優れた取り組みを「SAVOR JAPAN」として農林水産大臣が認定する制度を平成28年度に創設しました。

国が強力に後押し

認定された取り組みについては、海外旅行博覧会への出展やSNSを通じた映像配信などの情報発信を国が支援します。

こうした取り組みを通じ、より多くの外国人旅行者に認定地域をはじめとした日本の農山漁村を訪問してもらい、「農泊」で過ごす中でその地域でしか味わえない食文化を存分に楽しんでいただくことを「日本でのオススメ旅行プラン」にまで成長させていきたいと考えています。



農林水産省 食料産業局
食文化・市場開拓課長
西 経子 さん

小松でしか味わえない体験

小松市については、加賀百万石の茶文化や懷石料理が町衆文化として伝承されてきており、市内各所に存在する食と芸術・文化を継承する施設で体感することができます。郷土食の茶懷石は、日本海の海の幸という「自然」の恵みと「京文化」が融合した小松市ならではの食文化であり、和の文化を味わいたい外国人観光客にもきっと満足してもらえると考えています。

認定は決してゴールではなく、インバウンドの方々が存分に楽しめる旅行先となるためのスタートラインです。小松市の皆様が、このインバウンド誘致活動を契機として、小松市にしかない食や食文化などの価値を再発見されること、またそれらを磨き上げることで、より多くの旅行者が小松市を訪れることを心から期待いたしております。



特集

食文化で世界をおもてなし

昨年12月、本市の食文化を始めとした地域資源が、農林水産省のSAVOR JAPAN(セイバージャパン)に県内で初めて認定されました。歴史と風土に育まれた小松の食文化と、海外誘客に向けた今後の動きを紹介します。



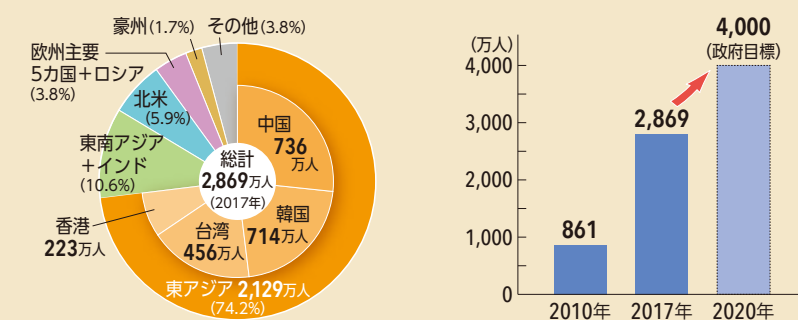
山、海、田、畑、川、箸をモチーフにしたロゴマーク▶

増加する外国人旅行者

高まる日本人気の中、訪日外国人旅行者数は堅調に増加しており、2017年の推計値は約2869万人と過去最高となりました。その内訳を見ると、中国、韓国、台湾など東アジアからの旅行者が全体の約7割を占めています。今後、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて外国人旅行者の一層の増加が見込まれています。

小松空港においても、上海、ソウル、台北などを結ぶ国際路線があり、2016年の国際線旅客数は約19万5千人と過去最高を記録しました。また、市内の外国人宿泊者数も増加しており、2017年は前年の約1.5倍の1万3千人を越える人が宿泊し、大きな経済効果を生み出しています。今年1月には、台北便に新たにLCC(格安航空会社)が週2往復の定期便を就航するなど、今後、国際空港として更なる利用の拡大が期待されます。

■訪日外国人旅行者数の推移と地域別割合【出典：日本政府観光局(JNTO)】



外国人が好む「和食」を発信

2013年の「和食」のユネスコ無形文化遺産登録や、2015年に食をテーマにイタリアで開催されたミラノ国際博覧会などを通じ、海外では、日本食や食文化に対する関心が高まっています。

「SAVOR JAPAN(農泊 食文化海外発信地域)」は、地域ならではの食とそれを生み出す農林水産業、魅力ある景観や伝統文化といった地域資源の情報を、海外へ効果的に発信し、訪日外国人旅行者を積極的に誘致する取り組みです。現在、全国で15地域、北陸では本市を含め2地域が認定されています。



▲谷合農林水産副大臣(左)から認定証の授与

歴史がつなぐ小松の食文化

室町時代後期に小松で起きた大規模な一向一揆をきっかけに、加賀は「百姓の持ちたる国」として本願寺門徒が統治しました。その後、加賀前田家三代利常公が小松に入城し、芸術性の高い町人文化が華開き、人々の生活に溶け込んでいきました。

こうした歴史の中で醸成されてきた報恩講料理や茶文化、懷石料理といった地域独自の食文化が今回の認定につながりました。

Welcome!
外国人の皆さん。
ようこそ小松へ！

ムスリムフレンドリー KOMATSU

イスラム教を信仰するムスリムの人が安心して食事を楽しめるよう、市では一定の基準を満たす店舗の情報を提供しています。

◎ムスリムフレンドリー KOMATSU宣言店 日本料理 梶助、ラ プティトゥ ポルト、リストランテ・ジン、エムラインマーケット、町家ばる 山水悠

◎基準 豚肉や豚肉由来成分を含まない料理、ハラール(イスラム教の規範で許された行為、物)に対応した料理の提供など



加賀の国観光グランキャブ

大空間の最上級サルーン車に、12カ国語同時通訳サービスを搭載するなど、海外からのお客様を想定した観光タクシーです。バラエティーに富んだ全12コースがあります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



「OISHII(おいしい) 春号」で小松市が紹介されます

日本の食文化を中心に掲載しているシンガポールのフリーマガジン。ショッピングセンターなど国内約450カ所で配布されている人気情報誌です。伝統的な食文化や旬の食材、観光情報などをシンガポール人ライターが現地取材し、グローバルな目線で発信します。



世界の人にも喜ばれる
小松の食の魅力
小松市は、海外友好都市との交流や企業研修、留学、スポーツ強化合宿など、様々な国から多くのお客様を迎えています。小松の歴史や風土に育まれてきた料理、食を通じた体験など、海外の人たちにもとても喜ばれている小松の食文化について見ていきましょう。

茶道と九谷焼

1640(寛永17)年に小松城に入城した加賀前田家三代利常公は、小松絹や茶など様々な産業を保護奨励するとともに各分野の名工や名人を招きました。

中でも、千家四代仙叟宗室を茶道茶具奉行として召し抱え、仙叟が商人などに茶道を教えたことで茶の湯が町人へと普及し、今日の小松の茶道の礎となりました。また、お茶席に忘れてならないものに和菓子があります。市内には今も多くの和菓子店があり、季節の移ろいを五感で感じられる菓子を作っています。おもてなしの心がこもった茶道は、日本人のみならず海外のお客様にも喜ばれています。

加賀前田家が奨励した九谷焼は、伝統的な美術工芸品として国内外に知られていますが、小松では人々の暮らしの中で大切に用いられてきました。この色鮮やかな九谷焼を器として用いることで、料理は一層美しく演出されます。



Wonderful!!



小松市国際交流員
キンバリーさん
(シンガポール出身)

かわいらしい和菓子や、美しい器に盛られた新鮮な海や山の幸。小松の食は、食べるだけでなく見て楽しむことができます。

清らかな水と風土が育む日本酒

小松には多くの蔵元があり、それぞれが趣向を凝らした日本酒を造っています。

この酒造りに重要なのが、北陸の風土です。白山に降り積もった雪は長い年月をかけて伏流水となり、また、雪解け水は加賀平野を潤し、良質な米を育みます。厳しい冬の寒さで熟成された日本酒は、特有の香りと繊細でまろやかなうまみを醸し出し、海外からの旅行者にも好評です。



Delicious!



中川ベッキーさん
(アメリカ出身)

北前船が運んだ食文化

小松の食文化に大きな影響を及ぼしたものに北前船があります。江戸時代の重要な物流を担った北前船も、そのルーツは利常公にあります。江戸初期に陸路と琵琶湖の水運で大阪へ運んでいた加賀藩の米を、利常公が下関・瀬戸内海を経た海路で運んだことが、北前船が誕生するきっかけになったと言われています。

日本海経由で北海道と大阪を往き来した北前船は、途中様々な港に立ち寄り、安宅も重要な寄港地の一つとして栄えました。当時、塩・醤油・味噌などが主流でしたが、北海道から運ばれた昆布が加わることで料理はより繊細なものとなっていました。昆布は小松を代表する「小松うどん」のだしにも欠かせません。また、同時に運ばれたニシンは石川の冬の郷土料理「大根寿司」の材料となりました。

特許庁・地域団体
商標に内定
「小松うどん」



「ミシュランガイド」や「ゴ・エ・ミヨ」など世界的な美食ガイドに認められた様々な名店が小松にはありますね。



有限会社エクスプリム
代表取締役社長
マニグリエ 真矢さん

フランス政府対外貿易顧問委員会副委員長、経済産業省 産業構造審議会2020未来開拓部会アドバイザー、北陸新幹線小松駅舎デザイン検討会委員

那谷・滝ヶ原エリア

～農村での宿泊を通じた交流～

平成28年に文化庁の日本遺産に認定された小松の「石の文化」を代表するエリアです。

昨年開創1300年を迎えた那谷寺では、奇岩遊仙境などの自然が造り出した石の造形美や歴史文化に触れたり、旬の食材を使ったヘルシーな精進料理やごま豆腐などを味わったりすることができます。

滝ヶ原地区では、アーチ型石橋群や滝ヶ原石の採掘場の見学のほか、里山自然学校こまつ滝ヶ原を中心とした生き物調査の体験や、地域の女性たちが作る郷土料理を味わうことができる里山食堂など、里山を活用した様々なプログラムが行われています。現在、地区内に今年春のオープンを目指して農泊施設の整備が進められており、今後更なる交流の拡大が期待されます。



日本遺産大使・三國清三シェフ考案
「(仮称) こまつもんスープカレー」

◀滝ヶ原産シイタケや、小松産トマト、にんじんがたっぷり



▲旬の食材を生かした那谷寺の精進料理



▲滝ヶ原石の石切り場

安宅エリア

西尾エリア

日用エリア

那谷・滝ヶ原エリア

特集に関する問い合わせ

こまつ観光物産ネットワーク ☎24・8394
環境王国こまつ推進本部 ☎24・8078

安宅エリア ～北前船の面影を残す港町～

四季を通じて様々な魚介類が水揚げされる港町、安宅。

江戸時代から明治時代にかけては北前船の寄港地として海運業で栄え、往時をしのばせる旧家や古い町並みが残ります。毎年秋の安宅住吉神社の秋季例大祭「安宅まつり」では、北前船の曳船が町内を練り歩き、今も北前船の文化が色濃く残っています。

近年は、住民が主体となり旧家を活用したお茶席やコンサートなどを開く回遊イベントが実施されるなど、おもてなしの充実が図られています。現在、安宅ビューテラスの改修工事が行われており、春には新たな装いに生まれ変わり来訪者をお迎えします。



▲木遣り音頭に合わせ練り歩く曳船



▲料亭まつ家の別邸・吉祥庵などを回遊するイベント「花の安宅に着きにけり」



▲かつて北前船の船主だった安宅の旧家などには、ニシンやスルメ、数の子を麴と酒で漬けた「どぶ漬け」が伝わっています。

日用エリア ～苔むす美しい農村景観～

銘木・日用杉の産地であり、48種類の苔が群生する日本有数の苔の名所「日用苔の里」があります。美しい杉林に囲まれた苔むす庭園や神社、古民家など美しい里山集落をガイドの解説を聞きながら鑑賞することができます。

※12月下旬～2月下旬(予定)は冬季休園。



西尾エリア ～自然とともに生きる営み～

十二ヶ滝や烏帽子岩など「西尾八景」と呼ばれる自然が造り出した特徴的な景観が迎えてくれます。

また、100種類以上の野菜を通年で有機栽培している西田農園(岩上町)や、全国の近代建築に利用され現在も掘削されている日華石の石切り場(観音下町)があります。



▲夏には多くの人が涼を求めて訪れる十二ヶ滝

◀有機野菜の種類は国内屈指の「西田農園」

小松ならではの体験を楽しむ

今回の認定に合わせ、来訪者が小松の良さを体感できる観光ルートの検討を行っています。食や農業、伝統文化、産業、自然など様々な分野の体験を組み合わせることで、普段の旅行とはひと味違う魅力あるルートを作り上げていきます。ここでは、主要なエリアのいくつかを紹介いたします。

未来を担う

平成29年度

私たちの主張

選挙や政治について、日頃考えていることや感じていること、伝えたい想いを、今年度18〜20歳になる皆さんから募集したものです。

問い合わせ

小松市選挙管理委員会
(総務課内) ☎24・8151

最優秀賞

選挙について

航空自衛隊小松基地

木戸

真登奈さん



私は今まで選挙に関して興味を持っていたことが無かった。その為、この機会を通して選挙について考えた。

まず選挙について何故今まで興味を持たなかったのかを考えた。原因として、第一に、若年層は政治に関わらないものだと思われていたところがあった。真剣に政治について考えたことが無く、国会で自分よりも年を重ねた方たちが集まり、討議している印

象で、若年層には関係の無い世界だと勝手に思い込んでいた。しかし、実際の所は、国会で討議されている内容には、若者や子供に対する政策が多くあった。その中には、給付型奨学金を創設する、保育所を作り保育士の待遇を改善し、待機児童問題を改善する、最低賃金の格上げ等、と若年層の中でも児童から学生、働いている若者に対しての政策が幅広くあり、目から鱗であった。

第二に、私が実際に投票したとしても何も変わらないだろうと思っていた。しかし、選挙について調べていく中で気になる言葉を見つけた。それは、「政治を動かすのは、国民ではなく、投票をする人だ」という言葉だ。あまりにも極端な考え方だと感じたが、調べてみると納得した。

政治への不満として年金について等、お年寄りへの政策ばかりではないかというものがある。その理由はそういう政策ばかりあるのではなく、そのようなお年寄りに嬉しい政策をお年寄りが投票に行き、実現させているか

らだという記事を見つけた。言われてみると、全くその通りである。つまり、若者の住みよい環境を作る為には、若者が投票し、政治を少しでも良いものにしていくという意思を持って投票することが大切なのだと分かった。

以上のことから、今までは選挙に興味を持ったことが無かったが、調べていくうちに、選挙の概要や、選挙で投票することの重要性を理解した。私たちが若年層は、私のように選挙についてほとんど知らない者が多くいると考える。今回私がこの機会を通して、政策を聞いて投票に行こうと意思を得たように、多くの人に投票に行くことの重要性を知ってもらう為、私自身、友人と選挙について話していきたいと思う。そして、それにより更に多くの若年層が投票所へ足を運ぶことを期待する。

そのほかの入賞者の皆さん(敬称略)

●優秀賞

政治に関われる貴重な機会
私たち若者がつくるべきもの
前屋倉一郎(航空自衛隊小松基地)
小原 暢子(小松短期大学)

●小松ライオンズクラブ会長賞

若者の主張
若者の投票率低下について
一票の責任に気付くことで
選挙について
未来を担う私たちの主張
坂本 隆一(航空自衛隊小松基地)
川口 瑞貴(航空自衛隊小松基地)
木下 美咲(航空自衛隊小松基地)
今村 佳祐(小松市消防本部)
江端 麻帆(こまつ看護学校)

第19回

こまつまちなみ景観賞

こまつまちなみ景観賞は、都市景観の向上と市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に毎年行っています。今年は「やさしいまち」をテーマに加え、応募作品全62点の中から次の7点が選ばれました。

問い合わせ

まちデザイン第1課 ☎24・8099

まちなみ部門

北村邸【高堂町】



重厚で風格のある既存家屋の造りを尊重しつつ、バリアフリー対応を図っている。街区の風情の保持・継承にも寄与している。

吉田邸【長田町】



前面は開放的な空間が広がっている。端正で現代のかつ隣接家屋群と同調させたデザインであり、新旧が共存した景観を創出している。

夜間景観部門

BRASSERIE 1945【土居原町】



築71年の町家を洋風飲食店として改修。ほのぼのとした親しみ感のある照明が、夜のにぎわいと風情をおしゃれに演出している。

広告部門

まそらデイサービス【西町】



緑の植え込みの中に、木地色と黒色を基調としたやさしさと落ち着きのある名称看板を設置。建物も周囲の街並み景観とよく調和している。

日本キリスト教団
小松教会【本町】



温かみのある杉板を多用。角地の特徴を生かした印象的な外観を築き、やさしさと安らぎ感のある街区景観を生み出している。

TAKAGAHARA CAFE
【滝ヶ原町】



滝ヶ原石などを活用し、古民家を開放的でおしゃれなカフェとして再生。山里の景観を楽しみながらリラックスできる場を提供している。

イオンモール新小松
【沖周辺土地区画整理事業区域内】



温かみのある色調のLED照明で全体を統一し、郊外部の夜間景観の魅力度とおもてなし度のアップに寄与している。

講評

選考委員長
森 俊偉さん
建築家
金沢工業大学教授



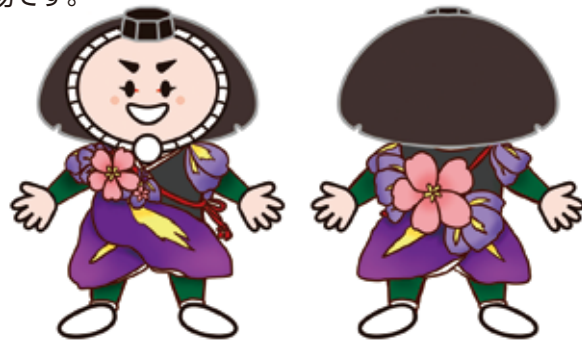
今年は地域の景観特性をよく理解し、周辺環境との調和に配慮したものが多く見られました。今後も品位と魅力、にぎわいとやさしさに溢れる都市・小松が形成されていくことを期待します。

受賞作品
紹介パネル展

●2月8日(木)～15日(木) イオンモール新小松 ●2月16日(金)～23日(金) 市民センター ●2月26日(月)～3月5日(月) JR小松駅コンコース ●3月6日(火)～13日(火) 南部公民館 ●3月14日(水)～23日(金) 市役所エントランスホール

フローラル 部門 早川 歩 さん(埼玉県さいたま市)

芦城公園の桜と木場潟公園の花菖蒲をモチーフにした着物です。



タイトル『さくらと花菖蒲の着物』

自由 部門 倉科 守 さん(埼玉県越谷市)

小松のがんばる農家を参考にデザインしました。



タイトル『「おいしい野菜」作ります』

カブッキー誕生会にて披露

今回グランプリに選ばれた衣装はカブッキーの誕生会で披露します。
とき 2月22日(木) 14時～15時 ところ カブッキーランド
※時間内は無料で入場できますが、施設を利用される場合は別途入場料が必要です。

問い合わせ 観光交流課 ☎24・8076

**カブッキー衣装デザインコンテスト
グランプリ決定！**

応募総数272点の中から、小松市イメージキャラクター「カブッキー」の衣装が決定しました。市のテーマに合わせた衣装で、今後様々なイベントに登場します。

審査員総評

実際に着用して活動する様子をイメージして審査しました。すてきな作品ばかりで選ぶのに大変苦労しました。完成が楽しみです。

乗りもの 部門 三本木 亮 さん(福島県郡山市)

ブルドーザーの窓を襟に見立てて、衣装全体を1台の車として表現しました。



タイトル『ブルドーザー』



東京オリンピック・パラリンピック開催まで

あと **2年5** ヵ月



プロフィール ●1987年4月7日 小松市生まれ。中海中学校、小松市立高校、金沢学院大学を卒業。高飛び込み選手として北京オリンピック(2008年)、ロンドンオリンピック(2012年)に出場。現在、小松市スポーツアドバイザーとしてスポーツの楽しさや素晴らしさを伝える活動を市内外で行っています。

問い合わせ スポーツ育成課 ☎22・8139

こんにちは、中川真依です。東京オリンピック・パラリンピック開催まであと2年5ヵ月。この世界的ビッグイベントを小松市の皆さんと一緒に楽しみ、そして盛り上げていくために、本コーナーを通して微力ながら協力させていただくこととなりました。ここではオリ・パラに関する小松市のスポーツ事情やオリンピックの裏話、トップアスリートの日常、そのほか私が感じる小松市の魅力などをご紹介していければと思います。よろしくお願いします。

公益財団法人 **小松市施設管理公社**は

公益財団法人 **小松市まちづくり市民財団**に名称を変更します

4月1日
から

小松市施設管理公社は1978年に小松市社会体育振興会として設立され、今年40周年を迎えます。これまで、体育施設や文化施設、児童センターなどの公共施設の管理と各種教室・イベントの開催を通じて、スポーツ・文化の振興や市民の健康増進に取り組んできました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や2023年の北陸新幹線小松開業を見据え、新たな時代に相応しい名称へと変更します。今後は、これまで以上に市民や地域、各種団体との連携を図り、スポーツ・文化交流の拡大や地域づくりの推進など、小松市のまちづくりに貢献していきます。

今後、次のような役割の拡大を目指していきます

テーマ1 施設管理

- 誰もが気軽に利用して楽しめる施設運営
- 施設の空き時間を有効活用するための新たな顧客の開拓
- スポーツ、文化施設の一元管理による利便性の向上

テーマ2 スポーツ・文化振興 NEW

- 生涯スポーツ・ゆるスポーツの普及
- スポーツ宿泊や文化体験ツーリズムの推進
- 指導者の確保・育成と、トップアスリートを目指したジュニアからの競技力向上



ゆるスポーツ
「トントンボイス相撲」

テーマ3 地域コミュニティ活性化 NEW

- 地域活性化への相談窓口の充実
- 大学や企業などと連携して地域活動を支援
- 生涯学習の機会・プログラムを充実



生涯学習講座

はつらつとした地域を市民と共に創り、未来へつなぎます。

問い合わせ (公財)小松市施設管理公社 ☎24・3073

**小松市社会福祉協議会は
第一地区コミュニティセンターへ移転します**

4月1日
から

社会福祉協議会は、すこやかセンター内(向本折町)から、総合的な設備を持つ第一地区コミュニティセンター内(白江町)へ事務局を移転します。移転後は、社会福祉協議会とコミュニティセンターの両機能を生かし、「みんなが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」をより一層推進します。

小松市社会福祉協議会とは…

地域福祉活動やボランティアに関する事業、生活困窮者の自立支援、各種相談事業の運営、障がい者団体への支援などを行うとともに、地域に密着した各種団体で構成される19の地区社会福祉協議会の活動などをサポートしています。



問い合わせ 小松市社会福祉協議会 ☎22・3354

第一地区コミュニティセンター(現在改装中)

要約筆記入門講座

話の内容を文字で書いて伝える要約筆記の初歩を学びます。

とき 3月3日～3月24日の毎週土曜日
9時30分～11時30分(全4回)

ところ 芦城センター

対象 聞こえに障がいのある人のコミュニケーションを支える活動に関心のある人

定員 10人程度

参加費 無料

申し込み 2月23日(金)までに、ふれあい福祉課 ☎24・8052 FAX23・0294

第8回すまーとの会(ストマを使用する患者の会)

とき 3月6日(火)14時～16時

ところ 小松市民病院本館2階会議室

内容 看護師によるワンポイントアドバイス、ストマ(人工肛門)を使用する患者同士の情報交換など

対象 ストマを使用している患者とその家族。どの病院にかかっているも参加できます。

参加費 無料

持ち物 ストマパウチ

申し込み 3月5日(月)までに、小松市民病院がん相談支援センター ☎22・7111

行事・募集

せせらぎ雪まつり
～冬の親子スポーツ体験～

とき 2月4日(日)10時～14時

ところ 里山健康学校せせらぎの郷

内容 人工芝グラウンドのそり滑り台、雪上かるた大会、スノータワーづくり、親子恵方巻き作り(有料、先着20組)、豚汁・おにぎり・ぜんざいなどの販売(雪がなくても開催)

対象 親子(年中児～小学生)

参加費 無料

問 せせらぎの郷 ☎46・1919

市民課前の自動交付機を3月31日で廃止します

印鑑登録証(カード)は、窓口で印鑑証明書を申請する際に必要ですので廃棄しないでください。

◎4月1日以降の自動交付機に代わる証明書取得(マルチコピー機)のご案内

場所	市役所市民課横	コンビニエンスストア
利用時間	平日 8時30分～18時30分	毎日(土・日曜日、祝日含む) 6時30分～23時
	※12月29日～1月3日を除く	
必要なもの	マイナンバー(個人番号)カード ※カードの発行には1カ月以上掛かりますので早めに申請してください。	
取得できる証明書	住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄本等(本籍が小松市の人)	

問 市民課 ☎24・8065

はつらつ健幸推進大会

とき 2月24日(土)13時30分～15時40分(13時開場)

ところ 市民センター

内容 ○第1部 講演「糖尿病～なぜ多い?なぜ怖い?どう防ぐ?～」講師:山本博(公立小松大学学長予定者、医学博士) ○第2部 表彰式(介護予防8020、歯と口の健康週間標語及び図画コンクール優秀作品、はつらつ健康川柳、健康づくり推進のまち) ○そのほか 認知症コーナー、健康に関する展示など

定員 500人(先着順)

参加費 無料

申し込み 2月16日(金)までに、もしもしセンター ☎20・0404

問 長寿介護課 ☎24・8168

心臓病教室のお知らせ

とき 3月14日(水)14時～16時

ところ 小松市民病院南館4階

内容 心不全について(病気、検査、薬、運動、生活、食事など)

参加費 無料

申し込み 3月9日(金)までに、小松市民病院地域医療連携室 ☎22・7111

自動交付機、コンビニ交付サービスの一時休止

電気設備工事のため、下記の期間は自動交付機とマイナンバー(個人番号)カードによる住民票などのコンビニ交付を一時休止します。

◎自動交付機

休止期間 2月10日(土)～12日(月)(休)終日

◎コンビニ交付サービス

休止期間 2月10日(土)6時30分～9時30分、2月12日(月)(休)19時～23時

問 市民課 ☎24・8065

医療・福祉

腎臓病教室のお知らせ

とき ①3月1日(休)18時～20時 ②3月2日(金)17時30分～20時

ところ 小松市民病院南館4階研修室

内容 ①腎臓病、検査、薬について ②食事、日常生活、福祉・医療制度などについて

対象 たんぱく尿が気になる人、慢性腎臓病、透析導入前の人など

参加費 無料 ※②の腎臓病食試食会に参加する人のみ1人600円が必要

申し込み 2月23日(金)までに、小松市民病院内科外来または地域医療連携室 ☎22・7111

平成29年分
確定申告はお早めに

受付期間 所得税及び復興特別所得税: 2月16日(金)～3月15日(休) 消費税・地方消費税: 4月2日(月)まで(土・日曜日、祝日は除く)

受付場所 小松税務署(簡易な所得税及び復興特別所得税の申告は市役所税務課でも2月13日(火)から受け付けます。日程は広報こまつ1月号または市ホームページをご覧ください)

◎申告書の作成は国税庁ホームページで 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、所得税及び復興特別所得税の申告書を作成することができます。作成した申告書(データ)は、印刷して郵送などにより税務署へ提出することができるほか、同コーナーの画面上からそのままe-Taxを利用して税務署に送信することもできます。

※事前準備として、マイナンバー(個人番号)カードまたは住民基本台帳カード(電子証明書取得済みで有効期限内のもの)が必要です。

◎確定申告書への個人番号記載について 申請書にはマイナンバー(個人番号)の記載が必要です。申告書の提出時に本人確認(番号確認と身元確認)が必要となります。詳細は国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp/mynumber/info/index.htm)をご覧ください。

問 小松税務署 ☎22・1171 税務課市民税・国保税グループ ☎24・8030

セルフメディケーション税制用の証明書を交付

対象者 ①市国民健康保険のはつらつ健診(特定健診) ②市国民健康保険の人間・脳・ミニドック ③後期高齢者医療保険の長寿健診、脳ドック } いずれかを受診した人で結果通知をお持ちでない人

※ただし、予防接種の領収書または接種済証、市がん検診の領収書または結果通知、職場で受けた定期健康診断の結果通知をお持ちの人は、この証明書の必要はありません。いずれかの書類で制度の適用を受けてください。

交付申請先 ①: いきいき健康課、②③: 保険年金課

※③の証明書については交付まで3～4日程度掛かります

必要なもの 申請者の印鑑、申請者本人確認書類(免許証、保険証など)

問 ①: いきいき健康課 ☎24・8056 ②③: 保険年金課 ☎24・8058

セルフメディケーション税制について: 税務課 ☎24・8030

くらし

軽自動車税の手続きはお済みですか

軽自動車税は、4月1日現在の原動機付自転車や軽自動車などの所有(登録)者に課税されます。既に所有していないにもかかわらず、廃車や譲渡の申告をまだ済ませていない人は、3月末までに手続きをしてください。

手続きをしないと今後も引き続き課税されますので、ご注意ください。

車種	届け出先
原動機付自転車(125cc以下)	市役所税務課
ミニカー・小型特殊自動車(農耕用、フォークリフトなど)	南支所 駅前行政サービスセンター
軽自動車(三輪・四輪)	軽自動車検査協会 石川事務所 ☎050・3816・1853(休業日: 土・日曜日、祝日)
軽二輪 二輪の小型自動車	北陸信越運輸局 石川運輸支局 ☎050・5540・2045(休業日: 土・日曜日、祝日)

問 税務課税総合窓口グループ ☎24・8029

くらしのかんづめ

人のうごき
平成30年1月1日現在

人口	108,591人	(+35)
男	53,118人	(+10)
女	55,473人	(+25)
世帯	42,733世帯	(+56)

()は対前月の増減

今月の税・料金の納期
納付期限・2月28日(水)

国保税	市・県民税	固定・都計税	軽自動車税	介護保険料	後期保険料	下水道負担金	上下水道料金
●	●	●	●				

カブッキーポイント 対象事業

vol.35 ごみナビ
食用油の容器はどう出すの?

使い切った後、水洗いせず1～2日逆さにします。注ぎ口を拭き、液がたれない(乾燥した)状態にします。

■プラスチック容器…プラスチック製の容器包装(容プラ) ※フタを外して出してください。

■ミルク缶より小さい缶(約2ℓまで)…空缶

■一斗缶(18ℓ)、半斗缶(9ℓ)など…金物

■空びんに限り、中身をきれいにし、乾燥してから出してください。

問 エコロジー推進課 ☎24・8069

平成30年度広報リポーター募集

主な仕事 ○毎号の広報こまつを読んで、感想や意見を提出 ○広報リポーター
会議(年4回程度)に出席 ○そのほか、市の広報広聴活動への協力

対象 ①20歳以上で、1年以上小松市に住んでいる人
②平日(日中)の会議(年4回程度)に参加できる人

募集人数 10人程度

活動期間 4月～平成31年3月

謝金 年12,000円

応募方法 はがきかFAX、メールで、住所、氏名(ふりが
な)、性別、生年月日、職業(勤務先)、電話番号、応募の
動機を明記して3月12日(月)必着で応募してください。

応募先 〒923-8650 小馬出町91 広報秘書課 ☎24・8016 FAX 24・5563
✉koho@city.komatsu.lg.jp

広報紙には子育てやイベン
ト情報のほか新たな発見も
あり、小松がもっと好きに
なりました。材木町にも
ゆかりの深い歌舞伎の魅
力を、これからも広めてい
ってほしいです。



平成29年度広報リポーター
永井 久深さん(材木町)

小松産業技術専門校 平成30年度訓練生募集

訓練科名 自動車整備科(1年)、溶接
科(6カ月)、情報ビジネス科(6カ月)、
生産設備製造科(6カ月)、CADオペレ
ーション科(3カ月)

応募資格 健康で技術習得意欲や就職
意志がある人。公共職業安定所長の受
講あっせんが受けられる人。

訓練開始 4月9日(月)

願書受付期限 3月1日(木)

選考日 3月16日(金)

選考方法 面接、書類選考、適性検査
申し込み 公共職業安定所(ハローワー
ク)

問 小松産業技術専門校 ☎44・1183
商工労働課 ☎24・8074

そのほか

12月の寄附(敬称略)

▽**社会福祉へ** 石崎和枝(河田町)、小
松市グラウンドゴルフ協会、三洋自動
車(株)(北浅井町)、連合石川かが地域協
議会

▽**こども福祉基金へ** (有)吉田運輸建設
(島田町)、三洋自動車(株)(北浅井町)

第20回全国子供歌舞伎 フェスティバルin小松

とき 5月4日(金)祝、5日(土)祝 いずれ
も10時開場、10時30分開演

ところ うらら大ホール

出演・芸題 ○富山県砺波市：出町子
供歌舞伎曳山 東曳山会「釣女」○滋賀
県米原市：米原曳山祭保存会 松翁山組
「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋
の場」○滋賀県長浜市：長浜曳山まつ
り 本町組 春日山「双面」○小松市：
子供歌舞伎「勸進帳」実行委員会「歌舞伎
十八番の内 勸進帳」

電話先行予約 3月4日(日)10時～18時
うらら専用ダイヤル ☎20・5501
※先行予約では座席を選ぶことはでき
ません

窓口販売 3月5日(月)～ ○うらら ☎
20・5501(10時～18時、水曜日休館)
○チケットぴあ ☎0570・02・9999
Pコード483-763(サークルK・サンク
ス、セブンイレブン)で取り扱い

チケット料金(前売り券) ○栈敷席(1マ
ス2席)7,000円 ○SS席(1階)2,500
円 ○S席(1階)2,000円 ○自由席(一
般・2階)1,500円 ○自由席(高校生以
下・2階)500円 ※3歳以上はチケッ
トが必要です。3歳未満は事前予約、保
護者同伴の上、親子席での観覧(うらら
窓口で受け付け)。
問 全国子供歌舞伎フェスティバルin
小松実行委員会(文化創造課内) ☎
24・8177

大杉ゲームランド大会 参加者募集

ストラックアウトやゴロマルキッ
ク、輪投げなど14種類のゲームを競い、
色々な学校の児童と交流します。

とき 3月10日(土)8時30分～16時30分
ところ 里山自然学校大杉みどりの里

対象 小学3～6年生

定員 50人(先着順)

参加費 1人1,000円(昼食代、保険料
など)

申し込み 2月9日(金)から受け付け。大
杉みどりの里 ☎46・1812



第38回将棋大会

とき 3月14日(水)13時30分～16時
ところ 市民センターはつらつルーム

対象 60歳以上の人

定員 A級戦(有段者)・B級戦 各15人
(先着順)

参加費 無料(ただし、はつらつセン
ター利用料100円が必要)

申し込み 2月14日(水)から受け付け。
市民センター ☎24・6101

木場潟環境フォーラム

とき 2月25日(日)13時30分～15時30
分(13時開場)

ところ こまつドーム集会室

内容 ○総合的な学習の発表 木場小
学校4年生 ○講演会(県政出前講座)
「生きものを絶滅させないために、みん
なにできること」石川県生活環境部自然
環境課

定員 250人

参加費 無料

問 エコロジー推進課 ☎24・8067



こまつウーマンマネジメ ントスクール受講生募集

女性のビジネススキルの基礎力アッ
プを目指す、管理職向けセミナーです。

とき 2月20日(火)13時30分～16時10
分(予定)

ところ こまつビジネス創造プラザ(ヒ
ルズ内)

定員 25人(先着順)

参加費 無料

申し込み 2月16日(金)までに、商工労
働課 ☎24・8074 FAX 23・6404

ジュニアスポーツ セミナー

運動神経系が発達しやすい年齢であ
る小学生を対象に、体を動かす能力を
高める「動きづくり」や「速く走るコツ」
などを学びます。

とき 3月3日(土)9時～12時

ところ こまつドームアリーナ

対象 市内の小学1～6年生

定員 300人(先着順)

参加費 無料

申し込み 2月28日(水)までに公益財団法
人北陸体力科学研究所 ☎47・1214
FAX 47・0656

問 スポーツ育成課 ☎24・8139

平成29年度ふるさと共創 チャレンジ事業報告会

とき 2月18日(日)10時～12時15分

ところ こまつまちづくり交流セン
ター(小寺町)

報告団体 特定非営利活動法人まちづ
くり小松、小松おやこ劇場、ピンクリ
ボン加賀、うらら蓮代寺、小松市防災
意識向上委員会、「わ・おん」、生涯学
習サロンの会、チーム「おまかせうん
チッチ」、明後日朝顔安宅、粟津こども
新聞部、こまつまちカフェ隊

問 市民協働課 ☎24・8217

市民センター 歌の絆2018♪

個性的な出場者がそろう楽しいス
テージです。ぜひご観覧ください。

とき 2月18日(日)12時～

ところ 市民センター大ホール

入場料 無料

そのほか 出演者募集は終了しました

問 市民センター ☎24・6101

障がい児親子水泳教室

とき 2月24日～3月24日の毎週土曜
日9時30分～10時15分(全5回)

ところ 小松屋内水泳プール(幼児プー
ル)

対象 以下の全てを満たす人 ○幼児
(オムツをしていない)～小学生 ○保
護者同伴で保護者も入水できる親子
○障害者手帳またはそれに準じた証明
書を持っている人 ○水泳教室参加に
ついて医師の承諾を受けた人

定員 10組(先着順)

参加費 2,000円(全5回分、プール入
場料含む)

持ち物 水着、キャップ

申し込み 2月13日(火)9時から小松市体
育協会 ☎23・5961(電話受付のみ)

大杉みどりの里 雪広場・施設の無料開放

とき 2月11日(日)祝10時～15時

ところ 里山自然学校大杉みどりの里

内容 エアーチューブ・そり(無料貸し
出し)、雪遊び、お風呂無料開放(11時
～15時)、軽食(有料)など

対象 親子(年中児～小学生)

参加費 無料

◎親子クロスカントリースキー体験

とき ①10時～12時 ②13時～15時

参加費 無料

◎クラフトとんとぅ作り

とき 13時～15時

定員 40人(先着順)

受け付け いずれも30分前から

問 大杉みどりの里 ☎46・1812

フローラルこまつ 花楽校



①花の育て方基礎講座「迎春花壇②」

とき 2月16日(金)10時～

ところ 市役所7階会議室

内容 この時期にしておきたい作業に
ついて(土づくりや種まきなど)。筆記
用具、手袋持参。

定員 30人(先着順)

②園芸まなび会 テーマ「花の肥料・生
ごみ堆肥の作り方」

とき 2月21日(水)10時～

ところ 木場潟公園西園地展望休憩所

内容 家庭での堆肥づくりや活用術

定員 20人(先着順)

③ガーデニングワークショップ テー
マ「寄せ植え」

とき 2月25日(日)10時～

ところ 木場潟公園中央園地メダカハ
ウス

内容 ミニバラが主役の寄せ植えづくり

定員 40人(先着順)

参加費 ①②は無料、③3,000円

申し込み ①は申し込み不要、②③は2
月19日(月)までに緑花公園センター ☎
24・8102 FAX 24・8189



賢い消費者になろう

消費せいかつ vol.104

民事訴訟管理センターからの架空請求はがきにご注意！

こまちちゃん 第10回 絵：れん（※小松市立高校芸術コース美術専攻）



2/1
▼
3/10

市民相談

	と き	ところ	問い合わせ
弁護士 (予約制1日5人) 同一案件 年1回限り	2/7,14,21,28,3/7 いずれも水曜日	13時～ 15時30分	あんしん相談センター (予約先) もしもし センター ☎20・0404 ※相談日の1週間 前から予約可
	2/22(木)		
	2/6,13,20,3/6 いずれも火曜日		
くらし困り ごと相談 (人権擁護委員・ 行政相談委員)	第1・3木曜日	13時～ 15時	あんしん相談センター 南支所 駅前行政サ ービスセンター
	第2火曜日		
	第4木曜日		
交通事故 登記	次回は4/24(火) 第2金曜日	13時～ 15時	あんしん 相談センター ☎24・8070
クレサラ・ 多重債務 (弁護士相談)	2/23(金),3/9(金) ※前日までに 要予約		
司法書士 (成年後見含む)	第3金曜日 ※相談日当日9時 から予約可		
社会保険 労務士	第4金曜日	13時～ 15時	あんしん相談センター
公証人	第3火曜日		
行政書士	第1月曜日		
消費生活	毎週月～金曜日	9時～ 17時	

問い合わせ あんしん相談センター ☎24・8071
消費者ホットライン ☎188

事例 裁判所や国の関連機関を連想させる差出人から、さも裁判になっているかのような不安をあおる内容のはがきが送られてくる。

トラブル回避のポイント

- ◆このようなはがきが届いても、絶対に差出人への電話連絡をしないでください。
- ◆はがきを受け取って不安になった人から電話が来るのを待つ、新手の「振り込め詐欺」です。
- ◆裁判に関わる重要な書類は、プライバシーの観点からものはがきで送られることはありません。
- ◆少しでも不安に思ったら、まずは市役所のあんしん相談センターまでご相談ください。

※相談はすべて無料です。秘密は守られます。
相談日はいずれも祝日を除きます。

	と き	ところ	問い合わせ
DV・性暴力	毎週月～金曜日 8時30分～17時	あんしん相談センター	小松市パープル ほっとライン ☎24・8178
心配ごと	毎週土曜日 13時30分～ 15時30分	社会福祉 協議会	社会福祉協議会 ☎22・3354
結婚	毎週土曜日		
家族会 介 護	第3金曜日		
教育相談 不登校相談 発達相談	全 般	月～金曜日 9時～ 17時 第1土曜日 9時～ 12時	教育研究 センター 教育研究センター ☎24・8124
	発 達	月～金曜日 9時～ 17時	発達支援セン ターえぶりい ☎24・8434
	教 育	月～金曜日 9時～ 16時30分	小松みどり 分校 ☎24・0103
	高 校 生	月～金曜日 9時～ 16時	やすらぎ小松 教室(小松北高 校横) ☎23・6669
	小松こころ の電話	毎日 13時～ 17時	小松こころの電 話☎24・5556

子育て

●育児相談
とき 2月5日(月)、3月5日(月)いずれも9
時30分～11時
ところ すこやかセンター

育児相談ダイヤル

☎21・0101
月～金曜日(祝日除く) 8時30分～17時

今月のハッピースマイル



吉竹町 加藤 聖修くん(3歳)

問い合わせ すこやかセンター ☎21・8118

健康づくり

- 保健師・管理栄養士による健康相談 予約制
とき 月・水・金曜日(祝日除く) 13時15分～15時15分
ところ 市役所1階またはすこやかセンター
 - 心理相談員によるこころの相談 予約制
とき 2月8日(木)、3月8日(木)いずれも13時～または14時40分～
ところ 市役所1階またはすこやかセンター
 - 血管若返り運動教室(初回教室) 予約制
とき 昼の部：2月13日(火)9時30分～、夜の部：2月22日(木)19時～
期間 6月まで(7月以降、教室リニューアル予定のため)
ところ すこやかセンター
- 内容 自宅でできる筋力運動、有酸素運動、健診結果・運動効果の説明
対象 40～74歳で、平成27年度以降の健診結果が要指導、要医療の人
持ち物 健診結果、室内用運動靴、飲み物、タオル、運動できる服装

申し込み いきいき健康課 ☎24・8161

休日・夜間
医療情報



南加賀急病センター(小松市民病院南館1階併設)
【小児科・内科】 ☎23・0099
月～土曜日：19時～22時30分
日曜日・祝日：9時～12時、13時～22時30分

インフルエンザの予防をしましょう

インフルエンザは、普通の風邪に比べて突然の高熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く現れるのが特徴です。また、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することもあります。

★予防のポイント ①流行前にワクチン接種を受ける。
②人混みを避け、外出時はマスクを着用する。
③手洗い、うがいをこまめに行う。
④室内を適度に加湿する。
⑤十分な栄養や休息をとる。

問 いきいき健康課 ☎24・8161

「ビュッフェ・こまつせ
せらぎ」からのお知らせ

◎食育レストラン登録事業者募集
平成30年度里山健康学校せせらぎの郷食育レストラン「ビュッフェ・こまつせせらぎ」用食材の競争見積もりに参加を希望する事業者は、申請してください。
申請書類 シルバー人材センターせせらぎの郷事業部で配布
申し込み 2月1日(木)～16日(金)にシルバー人材センター ☎46・5016
◎2月の営業について
2月1日(木)～28日(水)は予約のみの営業となります。予約は3日前までをお願いします。
問 せせらぎの郷 ☎46・1919



平成29年度
宝くじコミュニティ助成

自治総合センターが毎年実施している宝くじを活用した社会貢献広報事業の助成を受け、小野町町内会が公民館や町内活動のために備品を整備しました。今後、コミュニティ活動に活用されます。
問 はつらつ学習課 ☎24・8397

石綿による疾病の補償・
救済について

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に従事していたことが原因であると認められた場合には、各種の労災保険給付金や特別遺族給付金が支給されます。
まずは最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。
制度の詳細は厚生労働省ホームページでご覧になれます。
問 石川県労働局労災保険課 ☎076・265・4426 商工労働課 ☎24・8074

「こまつルネサンス2018」～市民美術の祭典～

市民を中心としたアマチュア美術公募展です。
今回から学生部門(高校生以下)を新たに設けました。入賞作品を含めた全応募作品を展示します。皆さんの力作をぜひご覧ください。

とき 3月3日(土)～11日(日)9時～17時(最終日は16時まで)
ところ 市民ギャラリーフレ
表彰式 3月3日(土)10時～
入場料 無料
問い合わせ 文化創造課 ☎24・8130



こまつルネサンス2018協賛事業 ～小松まるごとアートの祭典～

■やわたメディカルセンター「クラフト作品展」&小松市立高校「市美展」
とき 2月22日(木)～3月23日(金)
ところ やわたメディカルセンター
オープンギャラリー(八幡)

■八十山雅子・和代 春展
とき 2月28日(水)～5月27日(日)
ところ 八十山雅子・和代美術館(村松町)
入場料 一般200円、高校生以下無料

■祐門会小松教室「能面展」
とき 3月1日(木)～4日(日)
ところ Galleryアクアマリン(末広町)

■小松サン・アビリティーズ「渡辺澄子
水墨画・日本画展」
とき 3月1日(木)～31日(土)
ところ 小松サン・アビリティーズ

■松寿園ドレミ「私の一品展」
とき 3月1日(木)～30日(金)
ところ ドレミカフェ ギャラリー(向本折町)

■ぎやらリーソレイユ「自由表現展
vol.3」
とき 3月9日(金)～26日(月)
ところ ぎやらリーソレイユ(大領町)

■小松東ロータリークラブ「小松陽光
苑・ひかり絵画教室『ふれあいぬくもり展』」
とき 3月9日(金)～12日(月)
ところ うらら催事場ほか
※入場料の記載がないものはいずれも無料です

小松市ごみ分別辞典「ごみサク」がスタートしました

ごみの出し方・分別方法をパソコンなどのインターネット環境から簡単に検索できるごみ分別辞典WEBサイト「ごみサク」の提供を開始しました。

①市ホームページのくらし・手続き「家庭ごみの分別」から入り、「ごみ分別辞典」をクリック。または「ごみサク小松市」で検索。

②キーワード検索欄にごみの品目を入力

■キーワードで検索すると、ごみの分別や詳細を簡単に調べることができます。

(例)

キーワード検索: アイロン

アイロン 破碎ごみ 詳細
アイロン台 可燃ごみ 詳細 と表示されます

「分別種別名」や「詳細」をクリックすると、さらにごみの出し方の注意事項を見ることができます。



■会話形式(チャット)でも質問することができます(例)

マヨネーズの容器を捨てたい と入力

マヨネーズの容器はプラスチック製の容器包装(容プラ)です。
汚れが落とせないものは可燃ごみ。 と回答が表示

問い合わせ エコロジー推進課 ☎24・8069

「こまつオープンガーデン2018」参加庭主さんを募集

オープンガーデンは、丹精込めて世話をしている庭などを公開し、花やみどりを通じた交流を楽しむものです。庭や花壇、花畑などを公開していただける、個人、町内会、地域団体、事業所、学校などを募集します。

公開時期 4月～平成31年3月の間で、見頃に合わせて公開日を設定できます(通年可)。

募集対象 期間中に庭などを一般公開でき、それを紹介するガイドマップに住所、氏名などの掲載が可能な個人や団体

応募方法 氏名(ふりがな)、住所、電話番号を記入の上、FAX、はがき、Eメール、電話のいずれかで申し込み。後日、ガイドマップ記載事項などの申込書を送付します。

応募締切 2月20日(火)

応募先・問い合わせ フローラルこまつ実施本部事務局(緑花公園センター内) ☎24・8102 ☎24・8189
✉floral@city.komatsu.lg.jp 〒923-8650 小馬出町91番地(件名を「オープンガーデン応募」としてください)

■「バラフェス！」を同時開催

期間中の5月19日(土)～28日(月)、バラが中心の庭をピックアップしてホームページで紹介します。



昨年のこまつオープンガーデン

春から始めませんか。 「フローラルこまつ推進団体」募集中

道路沿いや公園、公共施設、地域の共有地など、いつでも誰でも見ることができる場所に花を植えて育てる活動に参加しませんか。

推進団体になって花いっぱいのもちづくりに参加する5人以上のグループを募集しています。

問い合わせ 緑花公園センター ☎24・8102

サイエンスヒルズこまつ体験教室



参加には別途ワンダーランド観覧料が必要です。①③④は小学3年生以下、②⑤は小学4年生以下保護者同伴でお願いします。
申し込み ①はヒルズホームページから、②～⑤は当日先着順。

	教室名	とき	対象・定員	参加費
①	雪だるまのように染めてみよう！	2月3日(土)、4日(日)、10日(土) いずれも13時10分～14時10分	幼児以上 各15人	300円
②	ガラス管でつくるカラフルマドラー	2月11日(日)祝 13時10分～14時10分	小学生以上 10人	100円
③	ポッカイトであたたまろう	2月12日(月)休 10時20分～、12時20分～、14時30分～	どなたでも 各30人程度	100円
④	ひなあられを作って食べよう	2月18日(日)、25日(日) いずれも11時～、13時10分～	幼児以上 各20人	100円
⑤	わんわん犬パズルを作ろう！	2月24日(土) 13時10分～14時40分	小学生以上 6人	300円

問い合わせ ひととものづくり科学館 ☎22・8610



対象施設：博物館、本陣記念美術館、宮本三郎美術館、埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センター

原町ト77-8 ☎47・5713

◎古代体験春まつり

古代のものづくり体験や古代食の試食など参加型の歴史学習イベント。

とき 3月11日(日)①9時30分～12時、②13時30分～16時

対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 各100人(先着順)

参加費 無料

申し込み 2月10日(土)9時から

こまつ芸術劇場うらら

土居原町710 ☎20・5500

◎うららで行う芸術・文化活動を支援します

対象 市内に住所または活動の本拠がある団体・個人

対象事業 4月1日(日)～平成31年3月31日(日)の間に、うららで行う芸術・文化活動

支援内容 会場使用料、付帯設備使用料、調律費用を合わせて上限35万円(外部発注費用は除く)

募集事業数 2事業(審査会で選定)

申し込み 3月13日(火)までに必要書類をうららへ持参または郵送。応募書類はうらら窓口またはホームページから入手できます。

応募先 〒923-0921 土居原町710 こまつ芸術劇場うらら

市史編纂事務局

丸の内公園町19 ☎24・5315

◎古文書講座

これまで取り上げなかった武家・寺院文書なども学びます(要申し込み)。

とき・内容 2月18日(日)「古文書を読んでみよう」、24日(土)「町方文書を読む」、3月4日(日)「地方文書を読む」いずれも14時～16時

ところ 公会堂1階 第1、2会議室
講師 袖吉正樹(金沢市立玉川図書館担当館長補佐)

参加費 無料

図書館

丸の内公園町19 ☎24・5311

◎拍子木カチカチなれば楽しいおはなしのはじまり～

小松紙芝居倶楽部の楽しい紙芝居です。

とき 2月11日(日)祝14時30分～

参加費 無料

南部図書館

島町ヌ43 ☎43・1222

◎おはなしの扉

サンタママのメンバーによる楽しい読み聞かせや歌を楽しもう。

とき 2月25日(日)14時30分～

参加費 無料

宮本三郎美術館

小馬出町5 ☎20・3600

◎企画展「写真と語る宮本三郎WORKS」

とき 3月4日(日)まで

◎学芸員によるギャラリートーク

とき 2月18日(日)10時～、14時～

宮本三郎ふるさと館

松崎町16-1 ☎43・3032

◎企画展「アトリエでひと休み～花たちに囲まれて～」

とき 3月4日(日)まで

こまつ曳山交流館みよっさ

八日市町72-3 ☎23・3413

◎ほくろく道 能楽の里in小松

気軽に能楽に親しめる講座です。

とき 2月10日(土)、24日(土)いずれも11時30分～(30分程度)

出演 小松能楽会

演目 安宅・佛原・祇王・実盛のいづれか

◎郷土料理「ちまき作り」

小松産の笹を使ってちまきを作ってみませんか。

とき 3月11日(日)10時～

講師 古梅恵子(小松生活学校)

定員 10人(先着順)

参加費 300円

申し込み 2月11日(日)祝から

—こまつ芸術劇場うらら主催公演—

桂文珍 独演会

抱腹絶倒の名人芸で楽しいひとときをお過ごしください。

とき 3月3日(土)13時30分開場 14時開演
ところ こまつ芸術劇場うらら大ホール

入場料(全席指定・税込み) 4,200円

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

チケット好評販売中 こまつ芸術劇場うらら ☎20・5501(予約専用)

チケットぴあ ☎0570・02・9999(Pコード483-786)

問い合わせ こまつ芸術劇場うらら(水曜日休館) ☎20・5500

空とこども絵本館

小馬出町10-3 ☎23・0033

◎2月の松居直コレクション

こどものとも18号「いたずらうさぎ」を紹介します。

◎ほっとおはなし会

おすすめの絵本で20分程のおはなし会を、内容を変えて5回行います。

とき 2月12日(月)休10時30分～、11時30分～、12時30分～、14時～、15時～

◎よんでよんで

とき 2月23日(金)10時～16時

◎おはなし会「心もからだもポッカポカ」
温かい気持ちになる絵本を紹介します。

とき 2月23日(金)10時30分～10時50分

◎映画会

懐かしい16ミリフィルムで子供向け映画を上映します。

とき 2月25日(日)14時～15時

◎日曜あさのおはなし会

とき 3月4日(日)10時30分～10時50分

参加費 いずれも無料

博物館

丸の内公園町19 ☎22・0714

◎企画展「九谷窯元『松雲堂』～スゴ技！九谷焼下絵の世界～」第1会場

とき 3月11日(日)まで

◎解説会

とき 2月11日(日)祝11時～

◎企画展「しらべてみよう！むかしのくらし」

とき 3月11日(日)まで

※常設展「こまつ of 石」もあわせてお楽しみください。

文化施設のご案内

【問い合わせ／開館時間／休館日】

■博物館 ☎22・0714

■本陣記念美術館 ☎22・3384

■錦窯展示館 ☎23・2668

■宮本三郎ふるさと館 ☎43・3032

開9時～17時(入館は16時30分まで)
休月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜日、祝日は除く)

■宮本三郎美術館 ☎20・3600

開9時～17時(入館は16時30分まで)

本陣記念美術館企画展

美に囲まれて…

コレクターと美術品

家族で楽しむための1枚の絵が、美術コレクションの始まりだったという本陣甚一。そのコレクションを自宅に見立てた美術館でご覧ください。美しいもの、好きなものに囲まれたコレクターの暮らしを体験してみませんか。

会期 3月18日(日)まで

ところ 本陣記念美術館

◆学芸員によるギャラリートーク

とき 2月24日(土)、3月3日(土)
いずれも11時～、14時～

入館料 300円(高校生以下無料)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)



▲「牡丹絵香合」二代松本佐吉



▲「交趾香合」中村翠恒



▲「砧青瓷戌香合」加藤溪山

問い合わせ 本陣記念美術館 ☎22・3384

登窯展示館

八幡己20-2 ☎47・2898

◎企画展「干支展」

とき 3月31日(土)まで

市役所エントランスホール

☎24・8130

○展示「五彩曳山 二基揃い踏み」

未来に伝える九谷焼の匠の技の競演をご覧ください。

錦窯展示館

大文寺町95-1 ☎23・2668

◎企画展「九谷窯元『松雲堂』～スゴ技！九谷焼下絵の世界～」第2会場

とき 3月11日(日)まで

◎解説+触れて感じる鑑賞会

美術品を実際に手に取ってご覧いただけます。

とき 2月11日(日)祝13時30分～

定員 10人(先着順、要申し込み)

参加費 無料(別途入館料が必要)

■こまつ曳山交流館みよっさ
☎23・3413
開10時～17時 休～3月は水曜日(祝日の場合は翌日)

■埋蔵文化財センター ☎47・5713
開9時～17時(入館は16時30分まで)
休水曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

■市役所エントランスホール
☎24・8130
開8時30分～18時30分 休土・日曜日、祝日

■登窯展示館 ☎47・2898
開11時～15時 休月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜日、祝日は除く)

■図書館 ☎24・5311
■南部図書館 ☎43・1222
開10時～18時(～2月)、9時～17時(土・日曜日、祝日) 休月曜日(祝日の場合は翌日)

■空とこども絵本館 ☎23・0033
開9時～17時 休月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、第2・第4木曜日

すばらしき仲間たち

地元商店から地域の活性化を

小松商店会連盟

小松商店会連盟は、20代から70代までの幅広い年齢で構成されており、現在11の商店会、215の事業者が加盟しています。地元経済の活性化を目的として、商店が相互に協力を図りながら、商店街ならではの地域に密着した様々な活動に取り組んでいます。連盟では月に1度、会議を開き、新規事業の提案や各種事業の打ち合わせ、進捗の確認を行うほか、商店同士の横のつながりの強化にも力を注いでいます。

今回新企画として開催される「第1回こまつまちゼミ」は、期間中市内21店舗の店主が講師となり、学ぶ、きれい、健康などをテーマに合計33の講座を行い、参加者にプロの技や知識を教えるもの。会長の濱本哲成さんは「まちゼミは全国的に広がっている事業。まずは駅周辺の商業集積地で効果を確かめ、将来的には範囲を広げ、市内の各商店も巻き込みながら開催していきたいです」と大変意欲的。現在の商店会の状況については「商店の数も減り、高齢化が進んでいますが、やる気のある元気な若者も現れてきています。若い斬新な発想でまちづくりを行い、新たな人の流れを呼び込めればいいですね」と熱く語ってくれました。

人と商店とをつなぐイベント「こまつまちゼミ」。皆さんもぜひ参加して各店のこだわりや特徴を知り、店主の人柄に触れてみてはいかがでしょうか。



▲商店街の発展のため会議では毎回活発な意見交換が行われています。

第1回 こまつまちゼミ

とき 2月16日(金)～3月15日(木) ※2月9日(金)から受付開始

内容 市内21の店舗で33の講座を開催。

詳しくは市内施設に設置のチラシまたは
商工会議所ホームページをご覧ください。

参加費 無料(内容によって材料費が掛かる場合あり)

申し込み ゼミ開催の各店舗へ

問い合わせ 小松商店会連盟(事務局：小松商工会議所) ☎21・3121



ホームページへ

●小松シティ・フィル定期演奏会

市民オーケストラ「小松シティ・フィルハーモニック」第19回定期演奏会 時2月18日(日)13時30分開場、14時開演 場うらら大ホール 費800円(小学生以下無料) 問しめざわ ☎090・4687・1985

●テコンドー体験会開催

東京オリンピックの正式種目でもある韓国伝統武道テコンドーを体験してみませんか。 時2月18日(日)15時～ 場BRIDGE3階 対6～60歳迄の男女 費無料 問佐野 ☎58・0879

●春よ来い!!わくわくウオーグ

イオン～憩いの森、ロードパーク中海の里、登窯展示館を13又は8km歩きます 時2月25日(日)8時45分 場イオンモール新小松西側入口 費500円 ※詳細は市HP勧進帳に掲載 問二川 ☎/FAX44・3962

●加賀地区リウマチ講演会

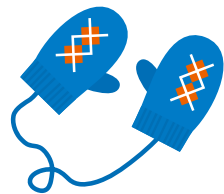
「歯は万病のもと」講師：中新敏彦先生(やわたメディカルセンター歯科口腔外科科長) 時2月25日(日)13時30分～15時30分 場芦城センター視聴覚室 費無料 問リウマチ友の会 吉永 ☎22・5131

●第14回ゆるママフェスタ

毎日頑張っているママを癒します。各種セラピー・親子撮影・ベジ弁当・スイーツ他(各ブース有料) 時2月28日(火)10時～16時 場まちづくり交流センター 問山岸 ☎090・4320・4334

●第6回せんぶれ・あっちーね演奏会

優雅だけじゃないクラシック! 5人の楽器と駆け巡る19世紀末の熱狂!! 時3月11日(日)13時開場、13時30分開演 場絵本館ホール 費無料 問あっちーね室内楽団小松支部 表 ☎090・5178・7116



※しみの広場は営利・宗教・政治を目的としない市内の団体に紙面を提供するもので文責は各団体にあります。

●コリ楽ヨガ

寒さで凝りかたまった身を、ほぐしましょう。床暖房の温かいお部屋でヨガを 時2月14日(水)、28日(水) いずれも9時45分～10時45分 費800円 場・問しあわせのいえ ☎47・0309

●受け継がれる着物語り(2月)

講師 華友禅菊屋女将 若林和美先生
テーマ：卒業入学に向けて着物選びと綺麗に見える着付 時2月16日(金)13時30分～15時 費1,500円 場・問駅前コミュニティサロン友 ☎090・1390・4027

●理科&ものづくり教室参加者募集

「君の作るばねばかりで、地球の引力を感じよう」 時2月17日(土)9時30分～12時 場コマツ館2階教室 対小学3～6年生 定20名(先着順) 費無料 問コマツ館小網 ☎24・2154 FAX24・2164

●多肉植物でひな祭りアレンジ!

時2月17日(土)10時～ 場しあわせのいえ 定6名 費2,300円 問しあわせのいえ ☎47・0309

●しあわせのいえ

◎昆布メ作り 時2月17日(土)10時～12時 費1,000円 ◎手作りタッセル 時2月20日(火)10時～12時 費1,000円 ◎フリマしあわせ祭り 時3月3日(土)10時～16時 問しあわせのいえ ☎47・0309



学びたい!を応援「こまつ市民博士」

市では、様々な分野で知識・特技を持つ人を「こまつ市民博士」として登録しています。町内会や団体の講習会などを開くときは、目的に合った人を紹介しますのでご利用ください(日程調整、費用負担、場所の準備などは各団体でお願いします)。詳しくは市ホームページをご覧ください。

◎「こまつ市民博士」募集中

知識・特技を生かしたい人、市民の活動を支援したい人を随時募集しています。

問い合わせ はつらつ学習課 ☎24・8397

しみの広場



市民の皆さんによる催しや活動を紹介するコーナーです。イベント情報や仲間づくりなどにご活用ください。

掲載希望の人は「広報こまつ しみの広場掲載ガイドライン」を確認の上、掲載月の前月1日(閉庁の場合は前日)までに広報秘書課に申請書を提出してください(郵送・FAX・Eメール可)。ガイドライン及び申請書は市ホームページからダウンロードできます。

●映画「ケアニン」上映会

介護職員195万人の声を形にした物語「ケアニン」を上映 時2月10日(土)14時30分～ 場こまつ芸術劇場うらら 定250名 費500円 問石川県介護福祉社会 ☎076・255・2572 FAX076・223・2672

●小松市スキー協会関係行事

①ちびっ子スキースクール 時2月12日(月)休 ②クロスカントリー-inおおすぎ 時2月17日(土) ③小松市長杯争奪スキー選手権大会 時3月4日(日) 問小松市スキー協会 ☎21・1371

●テーマで学ぶ健康セミナー(2月)

①医療と保険の話 時2月13日(火)19時～21時 ②医療と終活の話 時27日(火)19時～21時 場駅前コミュニティサロン友 定各15名 持筆記用具 費各1,000円 問島田 ☎090・1390・4027

●フードドライブに参加しませんか

ご家庭で賞味期限は切れていないけれど忘れられて保管されたままになっている食品をお持ちください。 時2月3日(土)12時～13時 場こまつ芸術劇場うらら 問半田和雄 ☎090・2831・7628

●ヨガのポーズで遊ぼう!親子ヨガ♡

簡単で楽しく、親子で行うヨガ。初めてでも安心!健康に!運動不足解消に! 時2月4日(日)10～11時、14～15時、16～17時 場桜木体育館 費大人750円、小人250円 問打田 ☎090・9440・7201

●こまつ火曜朝カフェ(2月)

人前で話す体験から新たな行動を起こすきっかけ作り。2月は親と子のお金にまつわる心理学 時6、13、20、27日(火)7時～8時 場駅前コミュニティサロン友 費500円 問中村 ☎090・2378・5690

●からだボカボカセルフケア(2月)

講師サロンナチュラーレ 蜂谷斉依子
おばあちゃんの知恵で体をあたためよう 時2月9日(金)10時～12時 場駅前コミュニティサロン友 費500円 問島田 ☎090・1390・4027

●小松歴活塾・連歌を楽しく

講師 金沢歴活代表 安藤竜先生
テーマは連歌を楽しく 時2月9日(金)13時30分～15時 場駅前コミュニティサロン友 費2,000円 問島田 ☎090・1390・4027



◀中華まん作り(上)、絵手紙教室(下)

『市民ポータルサイト勧進帳』
もご利用ください

<http://kanjincho.jp/>

モノから歴史を 読み取る

遺跡の発掘調査で出土する石器や土器、木器は昔の人々が使っていた大切な道具です。こまつ2万年の歴史の95%は、モノから読み取る作業に支えられています。



▲出土品の実測作業。ミリ単位の計測と細かな観察が求められます。



注記作業には面相筆を使います。なんと、管玉に孔を開ける太さ1mmの石針にまで書くこともあります。



▶小松式土器の壺とその実測図

▲埋蔵文化財センターでは、出土品整理の様子も見学できます。

歴史を語る遺物の 出土から分析までの道のり

遺跡からの出土品は、埋蔵文化財センターに持ち帰ってから、どのような道をたどるのでしょいか。

泥だらけの状態の遺物は、まずきれいに洗浄し、次に、注記作業といって、出土した遺跡名や出土位置を示す記号が書き込まれます。

注記作業が終わると、形や色を観察して、似たもの同士が集められ、接合、そして復元という工程を経ます。小さなカケラを組み合わせて復元する作業は、立体的ジグソーパズルのようで難しそうですが、慣れてくると結構楽しいものです。

こうした基本的な整理作業が終わると、いよいよ細かな記録と分析が始まります。

出土品を原寸で平面図にする作業を「実測」といいます。色や焼け具合、模様の入り方、製作方法などを細かく観察します。この観察の過程で、年代や地域色、他地域との交流、時には、当時の製作者の姿までよみがえってきます。

最近では科学分析も進み、小松の歴史がますます面白くなってきます。調査成果にどうぞご期待ください。

市民考古楽講座

出土品を参考に、地域の歴史や考古学を楽しみながら学びます。①②とも2日間の内容は同じです。

①矢田野エジリ古墳で埴輪研究は何が変わったか!?

とき 2月8日(木)、11日(日)いずれも13時30分～15時30分

②八日市地方遺跡で今、何が起きているのか!?

とき 3月1日(木)、4日(日)いずれも13時30分～15時30分

定員 ①②とも各30人(先着順、要申し込み)

参加費 無料

春季企画展

「校下別代表遺跡で語る！
こまつ歴史年表2018」

それぞれの校下にある代表的な遺跡・遺物を紹介します。

とき 2月24日(土)～6月24日(日)

観覧料 100円、高校生以下無料
※こまつミュージアム・パスが使えます

ところ いずれも埋蔵文化財センター(原町)

申し込み・問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713

